

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)乙第1761号	氏名	谷口 龍之
論文審査担当者		主査教授	青柳 潔
		副査教授	平野 明喜
		副査教授	永安 武

論文審査の結果の要旨

1 研究目的の評価

本研究は、骨折治癒過程が種々の血清骨形成マーカーにどの程度反映されるかを明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。

2 研究手法に関する評価

骨癒合が得られるまでの期間、経時的に採血した血清からオステオカルシン、アルカリフォスファターゼ、インスリン様成長因子(IGF-1)、IGF結合蛋白(IGFBP-3)を測定し、臨床的・X線学的骨癒合との関連を調べたもので、研究手法も妥当である。

3 解析・考察の評価

上記手法で解析した結果、血清マーカーのうち、IGF-1が骨折後増加し、仮骨形成の中期から後期に最高値に達することを示し、IGF-1の上昇が内軟骨性骨化を反映することを明らかにし、今後の骨折治癒研究への進展が大いに期待される。

以上のように本論文は骨折治癒過程を通じた再生医療への介入に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。